

会 議 録

会 議 の 名 称	令和 2 年度第 1 回行田市女性活躍推進ネットワーク会議	
開 催 日 時	令和 2 年 7 月 1 5 日（水） 開会：午前 1 0 時 3 0 分・閉会：午前 1 1 時 5 5 分	
開 催 場 所	行田市男女共同参画推進センター 学習室	
出席者（委員）氏 名	山崎孝子委員（座長）、岡田恵美委員、香川彩子委員、吉澤篤人委員（代理人出席）爲貝正博委員（代理人出席）、根岸桃子委員、西田信子委員、竹井里美委員、永島志津江委員、幅崎麻紀子委員、中村洋子委員、井上文子委員、加藤美幸委員、鹿山由美子委員、馬橋央承委員、内沼真由美委員、田島孝代（名簿順、敬称略）	
欠席者（委員）氏 名	江森加織委員、坂詰恭子委員、中山智子委員、嶋田和子委員	
事 務 局	堀口修司（所長）、新島紀子（主任）	
会 議 内 容	（１）行田市女性活躍推進事業行動計画（案）について （２）令和元年度女性活躍推進事業計画（案）について （３）その他	
会 議 資 料	・ 会議次第 ・ 行田市女性活躍推進ネットワーク会議設置要綱 ・ 委員名簿 ・ 資料 1 行田市女性活躍推進事業行動計画（案） ・ 資料 2 女性活躍推進ネットワークイメージ図 ・ 資料 3 令和元年度女性活躍推進事業計画（案） ・ 行田市女性活躍推進事業 2 講座チラシ（親子料理・アロマ講座） ・ 「在宅ワーカー育成セミナー」、「自分の価値観や適性を知ろう」、「荻野吟子賞募集」チラシ 3 種類	
そ の 他 必 要 事 項	傍聴者なし	
会 議 録 の 確 定	確 定 年 月 日	主 宰 者 記 名 押 印
	令和 2 年 月 日	㊟

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	・ 開会。 - 委員の自己紹介。 - 配布資料の確認。 ・ 本日の会議は、個人情報を取り扱う予定がないことから、原則公開とさせていただく。また、会議録については、委員名を明記の上、市政情報コーナー及び市ホームページにおいて公開させていただく。 - 本日の傍聴希望者はいない。 ・ 座長の選出（山崎孝子委員）。 - 議長の選出（座長）。
座長	・ それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただく。議事が円滑に進むよう、皆様の御協力をお願いする。議事の前に、第４条第５項に基づき、座長に事故があるとき又は座長が欠けたときの職務代理者の指名をさせていただく。 - 中村委員を指名させていただく。 - それでは、女性活躍推進ネットワーク会議の議事の（１）行田市女性活躍事業行動計画（案）について事務局に説明を求める。
事務局	・ 資料に基づき説明。
座長	・ 事務局から説明があったが、意見や質問等あるか。
岡田委員	・ 冒頭の「少子高齢化により労働人口減少する日本にとって環境構造の変化に対応するため多様な人材を確保することがとても重要なことである。」の始まりだが、労働力としての女性ではなく、女性が個人としていきいきと働ける環境を作ることが目的とすべきだと思う。文章上のことかもしれないが、そういうところから伝わるものとか、意識とか芽生えてくると思うので、そこのご配慮をいただきたい。

	もう 1 点、よくある理想論にならないように、書かれていることをしっかり実現していこうというスタンスが必要に思う。 毎年同じことを何度も繰り返し言っているが、特に料理教室やフラワーアレンジメントはただの冠を付けた趣味の講座にならないよう、こちらから男女共同参画について伝えたいこと、知ってほしいこと、目的を明確にして内容を作っていく必要がある。
座長	・昨年度のパソコン講座の実績を伺いたい。今年もやられるということなので、どのくらいの方がやられて、それをじかに活用して就職しているとか、そういう実績はあるのか。
事務局	・資料を持ってきていないので、正確ではないが、6・7名の方が参加してくれたかと思う。この講座につきましては、結構好評であり、今年も開催したい。
座長	・中身だが、何回か受けるとある程度、就職したときにモノになるのか、その程度を伺いたい。
事務局	・パソコン講座は基本的なところから応用的なところまでやと思うが、ハローワーク行田のほうから就職支援のための講座という位置づけになっている。その辺は、ハローワークさんがいますので詳しく聞ければと思う。
加藤委員	・受講後リンク学院の 3 か月の職業訓練を受講された方もいた。その後就職ということになるが、パソコンのとりかかりとしては、自分はこの仕事に向いているかなという判断材料には十分なものだと思う。
井上委員	・加藤委員にお尋ねしたい。このパソコン講座に出席すると求職活動の一環になるのか。1 講座で 1 回、3 回やると 3 回求職活動したことと認められるのか。

加藤委員	・認められる。
座長	・参考に、もう少し詳しく聞きたい。
加藤委員	・それでは、説明させていただく。求職活動とは、今回の在宅ワーカー育成セミナーに関しても、受講証明書を発行すると書いてあり、これが何なのかというと、雇用保険というものが、28日おきに支払われる。その間に求職活動を2回以上行わなければならないという定義がある。その求職活動の一環として参加すれば活動している証明となる。他には、自分で直接会社に電話して面接をしても回数に入る。今年は、コロナの影響でセミナーが全部中止となっていて、求職活動が非常に困難になっている。こういったセミナーを開催していただけると皆さん、普段自分だけで仕事を探して窓口で聞くだけの求職活動よりも、自分が何に向いているかとか、これからどういった仕事につけばいいのか、そこで知り合った友達とかと一緒に求職活動をするということが非常に素晴らしいことだと思う。それを考えると普段窓口で相談するだけではなく、こういうセミナーに参加して、世の中どういう状況なのかということや自分を顧みることにも役立っているのかと思う。この受講証明書というのは28日間で2回必要になる。しかし、今は求職活動がなくてもお金は支払っている。
座長	・よく理解できた。コロナでいろいろなことがキャンセルになっているのでご苦労があるが、これからもよろしくお願いします。
西田委員	・セミナーを開いて、男女共同参画のことをみんなに意識付けしたり、そのために短くてもいいから時間をとって具体的に伝えたらいいと思う。それから、こうやってコロナの対策をやっていることも説明したほうがいいと思う。
座長	・他の公民館の講座と違って、男女共同参画のこの場所でやると

	いうことは、その意識啓発が入ってないといけない。講座の前に何かやるのか。
事務局	・もちろん始まる前にお話し等してから始めている。講座によっては男女比の偏りもあるが、沢山の人に出ていただけるように宣伝をして、男女共同参画の意義を話してから始めている。
座長	・これからもよろしくお願いします。その方向で行っていただきたい。
幅崎委員	・セミナー等各種取り揃えているが、若い世代がなかなか来づらい。若い世代を取り込むにはどうしたらいいかという視点で周知方法を考えていただきたい。 もう 1 点、先程からコロナの話もでているが、例えば web を使ったウェビナーなど、本学でも学生向けの授業の講義は web を使ってやっている。対面式と違って情報面・物足りなさはあるが、来られなかった学生が参加できたり、いい面もやはりある。もし、可能であれば、新しい働き方と同じで、新しい方々を取り込むという意味で web などを積極的に使ってみてはどうか。
座長	・去年は若い世代は少ないのか。フラワーアレンジメントの時のアンケート集計表はあるか。
事務局	・あるが、データを見ると、確かに年代的には若い人の参加は少ないのが実情である。その辺も踏まえて宣伝等もしていく。
座長	・ほかに質問はあるか。議事（2）事務局より女性活躍事業計画（案）について説明をお願いします。
事務局	・女性活躍事業計画（案）の説明

座長	・ ご意見、ご質問等あるか。
松原委員	・ 質問だが、パソコン講座で、4回開催されるということで、3番については、 word をするので4番は excel メインなのか。
事務局	はい。
松原委員 (吉澤委員代理)	・ パソコン講座があるということで、採用担当の者に、採用の際のパソコンのスキルについて、尋ねてみた。当社の考えなのかもしれないが、 word に関しては社内書類として使うもので、所定の書式で送付状を入力するためしか使っていない。 excel は作られたファイルに必要事項を入力するとか計算式が入っているものや専用ソフトに入力するので、 excel の SUM が使えるとかピボットテーブルを使えるかなど質問をしてパソコンレベルを把握判断していると聞いている。個人的にはパソコンは若い方は得意なのかなと思っていいたが、若い方は、携帯で何でも検索してしまうのでパソコンが苦手という方が多い。それなので、若い世代も参加できるような講座にできたらいいと思う。
西田委員	・ 例えば、女性が企業するとして広告するポップは word だと思う。うちも農家で、計算は excel だが、それ以外の雑用や、商品に対するポップなど、結構使うことが多い。 word とは、こういうものという入り口があってもよいと思う。
座長	・ パソコンの機能はその場によって違う。とてもいい意見をいただいた。
幅崎委員	・ 保活セミナーについてだが、「保活」という意味は、どれだけ保育園に入れていただけるように順位を上げる活動ではないかと思う。例えば、私が保活するのだったら順位を上げるにはどうしたらいいかとか。そういうノウハウでないのなら「幼児教育」

事務局	ではないかと思う。子供を預ることで社会貢献したいというよう なときに、この講座でいいのか、若しくは他のところにもそうい った講座があって並立していると、どれを受けていいかわからな いと思ったので、何か情報があればいただきたい。 ・まず、パソコン講座関係のご意見をいただいたことについて、 西田さんが言われたように、ポップの制作のような、若い人の興 味を引くようなポイントも入れた講座にする旨先生と煮詰めて いきたい。そこをチラシ作りに反映したいと思う。 それから、幅崎委員の保活セミナーについて、行田市男女共同 参画推進センターには、「ひととき保育ボランティア」という団 体があり、うちで企画した講座等の参加の際利用できるような なっている。登録者は保育士の資格があるかた、子育て経験しかな い方といて、子供の人数によって登録者に頼んでいる。保活セミ ナーというのは保育園に入る順位を上げる活動ということだが、 お子様に興味のある方にいろいろな新しい教育もありますよと 紹介することで「保活セミナー」とし、言葉なじみもあり、書か せていただいた。
座長	・さいたま市と行田市で違うところだが、託児付きというのは、「ひ ととき保育ボランティア」ということで、行田では対応している ような感じがすると思う。
幅崎委員	・先程の、子育てのモンテッソーリ教育を学ぶというのをメインで、 小さく保活と入れるのなら誤解がないと思う。
座長	そっちをメインにした方が内容がわかると思う。その辺を考慮し てほしい。
岡田委員	・何点かあるが、先程西田委員からもあったように、講座等の際には、 始まりの時に冒頭で男女共同参画についての趣旨説明をしっ

	かりと資料を渡して伝えることをやってほしい。あとはアンケートをしっかりとっていただきたい。あと幅崎委員からの web セミナーは非常によいので、早急に取り組みしていただきたい。あとパソコン講座も西田委員のお話しのポップなどを作れるとか、このスキルを通してこんなものが作れるとか情報提供できると思う。そういうところを講師の先生と打ち合わせしていただければいいと思う。アンケートの集計について、去年も申し上げたと思うが、この会議の委員の数は参加者の人数に入れないで集計してほしい。あとは、男性料理講座ですが、先生は男性ですか。
事務局	・ はい。
岡田委員	・ もしできたら、参加していただいた男性をほめてモチベーションを上げて帰っていただきたい。その中でイクメン事例の紹介とか今世の中変わってきているのを伝えたり、女性の負担についての基礎知識を伝えていただければ男性も料理をやってみようかなというきっかけになると思う。フラワーアレンジメントの講座で竹など工夫して男性の興味が湧くようにとのアイデアはいいと思う。チラシに和装の男性が渋く生け花をしているとか男女で写っているのも粋ではないか。ビジュアルで伝えるようなチラシを作っていただけると男性参加も促せるのではないかな。チラシは大切なのでよろしくお願いします。
座長	・ とてもいいアイデアだと思う。
中村委員	・ 講座についてだが、先程岡田委員がおっしゃったように、フラワーアレンジメントも長年お正月用のお花だったが、今回はちょっと変わって良いと思う。男性にも出やすいように多肉植物の寄せ植えなどにするとより一層よいと思う。それから、男性料理講座を何年かやっているが、男性が料理をしてくれるのはいいけど、準備と片付けをやらないので全部を含めて料理とのかを強調

	していただきたい。それから昨年の防災講座に参加したが、男女関係なく参加できてよかった。その代わりとして今回はアロマということだが、コロナの不安がある時期だから、これもいいと思うが、時期が落ち着いてきたらまた是非やってほしい。
座長	・他に意見はあるか。(3) その他ということで、事務局から説明いただく。
事務局	・埼玉県県民部男女共同参画課の鹿山さんよりお願いします。
鹿山委員	・埼玉県県民部男女共同参画課の鹿山です。お忙しいところお時間をいただく。今回「さいたま輝き荻野吟子賞募集リーフレット」を持参した。埼玉県が誇る3偉人で渋沢栄一・塙保己一・荻野吟子であり、今年は、荻野吟子を推している。江戸時代末期に生まれ当時女性医師となる試験の受験さえ認められていなかったが、困難な状況を自ら切り開いていった不屈の精神を持った人だった。そういう方を表彰していきましょうということになった。 「さわやかチャレンジ部門」では40歳未満の若く各分野にチャレンジしていて今後更なる活躍が期待している方の募集。 「いきいき職場部門」では男女ともに働きやすい職場づくりにご尽力している方。 「キラキラ部門」はいろいろな活躍でちょっと大賞的な感じとなっている。さわやか部門といきいき職場部門だが、推薦いただけたら大変助かるので、よろしくお願いします。
座長	・江戸時代なので、封建社会の時代の難しさのなかでも素晴らしい活躍をした方で、やはり埼玉県が誇る女性の一人だと思っている。他に、なにかあるか。
事務局	・委員の皆様に貴重なご意見いただき有難いと思う。もし、また何か講座やセミナー等の要望があれば、コロナ等の影響を見ながら

	進めていきたいと思う。その他は以上である。
岡田委員	・ 1点触れるのを忘れていた。先程幅崎委員からご指摘があった保活について、調べてみると「自身の子を保育所に入れるために保護者・親などが行う諸活動を指す日本独特の造語とある。 市の機関なので、用語を誤解して使っていると思われる表現は避けた方がよいと思う。是非、再考していただければと思う。
座長	・ 私の方から市役所の総務部の人事課・地域づくり・商工観光課の職員に、この会議に出た印象とか意見をいただきたい。
馬橋委員	・ 今回、2回目の出席になる。今日の皆さんの意見を聞いて、市役所は女性の管理職が少ない。子育て中の職員の活躍も必要となってきたので、このような会議で皆さんがどういう考えを持っているのか参考にさせていただきたい。それを職員に生かしていけたらと思った。
内沼委員	・ 地域づくり支援課の仕事では市内のNPO法人の活動の支援をしている。市役所に勤めていると、市役所の仕事はわかるけど市民側の情報が入ってこない。今のところ、この会議の意見を聞いて助かると思っている。今は他の団体もだいぶ停滞している。ウェブ会議やZoomを使って活動している団体をクローズアップさせていきたいと思っている。この場は役所目線ではなく、違う視点で見ることができる場なので刺激となって大変参考になっている。
田島委員	・ 4月に異動してきて観光振興をメインにやっている。広報の仕方など大変参考になった。起業家支援の給付金では、女性は少ないと感じているのでたくさんの情報を発信していかなくてはと実感させていただいた。
座長	・ もうひとかた、ものづくり大学の永島先生ご意見お願いします。

永島委員	・ コロナ禍で対面授業ができない状況だが、喫緊で親子手ごねパン作りが開催されるが、定員は大丈夫か。
事務局	・ 定員はすべて、うまっている。キャンセル待ちになっていて、キャンセルがでたら繰り上がることになる。
永島委員	・ 定員はぴったりで3密を防ぎながらやる。参加者は手ごねを心配されているのではないか。やるやらない決断をぎりぎりまで考えるのか。その辺が気になった。
座長	・ それでは、まきば園の根岸委員。園で、高齢者を預かっているが何か意見はあるか。
根岸委員	・ 私も手ごねパンづくりやるんだと、ビックリした。市がそういうことに対して一番怯えそうなイメージがあるが、おそらく、いろいろな対策をされたうえの実施だと思う。人が集まる場を少しずつ提供していくのも明るい未来を感じさせる。自粛するより自粛明けの方が難しいと思うが、こういう対策をしながらやっていると広めながらやるのは大事かなと思う。あとは就労に関するいろいろな企画も、スキルを高めてから就職する。頑張るのはいつも女なんだと、男は頑張らなくても選択肢がある。働きたいと思った時いろいろな選択肢を平等に提供できるのが男女共同なのかと思っている。行田だけの問題ではなく日本全体の問題ではあると思う。いろいろな意見を聞かせていただいて、私自身が考える機会をいただいているのはありがたい。
座長	・ それでは、りそな銀行の富田さん何かご意見あるか。
爲貝委員代理	・ 本日は貴重なご意見をいただきありがたい。弊社としても、女性の管理職の比率を上げていき女性の活躍する場を広めていく施策を講じている。こういう場を活かしながら貴重な意見をいただ

座長	きながら、会社の施策の一つとして広めていきたいと思う。 ・ それでは、コルコートの香川さん何かあるか。
香川委員	・ 本日は、たくさんの意見大変参考になった。私も行田市民であり、このようなチラシを見たことはあったが、このような会議でいろんな意見を出し合って決めているとは知らなくて、有難い会議だなと思う。今後も、自分も子育てしている身なので、たくさん意見を言えるように職場の改善等協力していきたいと思う。よろしくお願いしたい。
座長	・ 最後に竹井さん、食生活改善推進員協議会のほうから意見はあるか。
竹井委員	・ 食生活改善推進員協議会のほうも、先程もあったが、食品関係なので、まったく活動はできない状況だ。それなので、手ごねパンづくりに関しては少し心配している。それから幅崎委員の先程の質問だが、私は子育てボランティア活動もやっていて、話がそれるが、NPO 法人子育てネット行田に入っていて社協と教育委員会のひとつつくり支援課と共催して子育てサポーター養成講座を毎年やっている。今年はコロナで講座はないが。社協に登録すると、ファミリーサポーターとして活動できる。学童のお迎えをしたり、1・2時間子供をみるとか、その時にお金がでたりというのがある。
井上委員	・ 手ごねパンづくりの開催時間が10時から13時になっているが、これは作ったパンを食べるのか。
事務局	・ 食べずに帰る。片付けの時間もあり、13時でなく12時半かもしれないが。

井上委員	・それで2種類のパンを作るのを1種類にするなどして最小限の時間にしてやった方がよい。
西田委員	・危険なことはやめておこうというのも残念だが、可能な限り研究してコロナ禍でも楽しめるなというのができれば素晴らしいことだと思うので、ビニール袋の中でパンをこねたりとかして精いっぱいやっていただけたら次の何かが見えるのかと思う。 私は、ヤオコーさんに椎茸を納めさせていただいているが、去年北本店の店長が女性で、もともとパートさんだった人が店長になり、桶川も女性が店長となっている。それだけで、すごく力づけられているので、そういう人がいると伝わればいいと思う。
岡田委員	・パンのことだが、ネットで調べたが、95度で15分間加熱するとウイルスは、ほとんど非活性化させられるという実験結果があるので、なるべく加熱時間を長くするなど調整して、その場で食べず持ち帰ればと思う。
座長	・皆さんのいろいろないい意見をいただいて、今日の会議がとても充実したものになったと思う。長時間に渡ってありがたく思う。これをもって座長の職を解かせていただく。
事務局	・本日は、いろいろと有難く思う。手ごねパンづくりについては感染に気を付けながら、やっていこうと思う。先程ご指摘があったように加熱したものを食べず持ち帰るなど考慮しながらやっていく。コロナの関係で会議も持てなくなってしまう状況になってしもうかもしれないが、その辺は調整しながら運営していく。 以上で閉会する。

--	--